

参考資料 1 1

子どもの生活に関する設問項目

幼児健康度調査による設問例

お住まいについてお答えください。

(1) お住まいのタイプはどちらですか。

1. 一戸建て
2. マンションやアパートなどの集合住宅 _____階建ての_____階

(2) お住まいの日当たりはいかがですか。

1. 良い方
2. 悪い方
3. どちらともいえない

(3) お住まいになっていて騒音そごおんで困ることがありますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

⇒ 「1. はい」と答えた方は、どのような点がお困りですか。

1. 交通量が多くてうるさい
2. 工場や商業上の音がうるさい
3. 学校など公共施設からの音がうるさい
4. その他 (_____)

(1) 育児のことであなたが気軽に相談できる人がいますか。

1. はい
2. いいえ

⇒ 「1. はい」と答えた方は、それは誰ですか (いくつでも)。

1. パートナーの方
2. 義母
3. 実母
4. 義父
5. 実父
6. きょうだい
7. 友人知人
8. 近所の人
9. 主治医
10. 助産師・

保健師

11. 電話相談
12. インターネット
13. その他

(_____)

(2) 育児について、身近な人 (パートナー、祖父母、親戚しんせきなど) と意見が合いますか。

1. はい
2. いいえ

⇒ 「2. いいえ」と答えた方は、どのような点ですか。

(3) 母親学級や父親学級などを受けたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

(4) 困った時にいつでも来て手伝ってくれるような親戚や友達などがいますか。
1. はい 2. いいえ 3. その他 (_____)

(5) お子さんと同じくらいの年齢のふたごをもつ人と連絡を取り合いますか。
1. 連絡していない 2. 1カ月に1回くらい 3. 2週に1回くらい
4. 1週に1回くらい 5. ほとんど毎日

(6) 家族ぐるみでつきあっている別のご家族がいますか。
1. いる 2. いない

(7) お産の後、気分が沈んだり、涙もろくなったり、何もする気になれないといったことがありましたか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(8) 現在の気持ちや体の調子はいかがですか。
1. 心身ともに快調 2. 体の調子はよいが、精神的に不調 3. 精神的にはよいが、
体が不調
4. 心身ともに不調 5. 何とも言えない

(9) 育児に自信がもてないことがありますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(10) 十分に世話をしあげられないなど、お子さんに申し訳なさを感じますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(11) お子さんの行動にうまく対処できず、責任を感じることがありますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(12) 子育てをむずかしいと感じることがありますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(13) ゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(14) 自分のために使える時間をもっていますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(15) 仕事が忙しく、育児が思うようにできないと感じますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない 4. 仕事はしていない

(16) 育児によって、自分も成長していると感じますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(17) パートナーの方は育児に協力的ですか。

1. はい 2. いいえ

⇒ 「1. はい」と答えた方は、どのくらいの頻度で協力してくれますか。

1. 1 ヶ月に1回くらい 2. 週に1～2回くらい 3. 週に3～4回 4. ほぼ

毎日

(18) パートナーの方は家事をしてくれますか。

1. よくやっている 2. 時々やっている 3. ほとんどしない 4. 何とも言えない

(19) パートナーの方はあなたの相談相手、精神的な支えになっていますか。

1. よくなっている 2. 時々なっている 3. ほとんどなっていない 4. 何とも言えない

(20) 夫婦でお子さんの話をする時間をとっていますか。

1. ほとんどとれない 2. 週に1～2回 3. 週に3～4回 4.

毎日

(21) パートナーの方とお子さんとの関係で、何か心配していることはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(22) パートナーの方はお子さんとよく遊んでいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何とも言えない

(23) パートナーの方の気持ちや体の調子はいかがですか。

1. 心身ともに快調 2. 体の調子はよいが、精神的に不調 3. 精神的にはよいが、

体が不調

4. 心身ともに不調 5. 何とも言えない

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
加藤忠明	医療とQOL向上のための支援	平山宗広、 中村 敬、 川井 尚	育児の事典	朝倉書店	東京都	2005	256-259
加藤忠明	小児慢性疾患	平山宗広、 中村 敬、 川井 尚	育児の事典	朝倉書店	東京都	2005	260-263
加藤忠明	慢性疾患の子どもは増えている！	加藤忠明、 西牧謙吾、 原田正平	小児慢性疾患支援マニュアル	東京書籍	東京都	2005	7-11
加藤忠明	小児の疾病とその予防	高野 陽、 加藤則子、 加藤忠明	保育ライブラリ「小児保健」	北大路書房	京都市	2005	65-95
加藤忠明	慢性疾患の小児とその家族の	高野 陽、 加藤則子、 加藤忠明	保育ライブラリ「小児保健」	北大路書房	京都市	2005	103
Takayama JI.	Transient Tachypnea of the Newborn.	William Schwartz	The 5-minute Pediatric Consult	4th Ed. Lippincott, Williams and Wilkins	Philade lphia, USA	2005	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
原田正平	周産期のヨード含有消毒剤使用が胎児・新生児の甲状腺機能に及ぼす影響	周産期学シンポジウム	23 巻	87-91	2005
原田正平	マスキングで発見される甲状腺機能障害の新しい診療手順	周産期医学	35 巻 9 号	1239-1243	2005
原田正平	甲状腺機能異常を疑ったときの検査の進め方	小児内科	37 巻増刊号	412-416	2005
原田正平	新生児内分泌疾患の頻度	周産期医学	35 巻 12 号	1587-1590	2005

Shiozawa Y, Kiyokawa N, Fujimura J, Suzuki K, Yarita Y, Fujimoto J, Saito M, Yamashiro Y.	Primary Malignant Lymphoma of the Central Nervous System in an Immunocompetent Child: A Case Report.	J Pediatr Hematol Oncol	27(10)	561-564	2005
Shiozawa Y, Kiyokawa N, Saito M, Fujimoto J, Hata JI, Yamashiro Y.	Granulocytic sarcoma of the spine in a child without bone marrow involvement: a case report and literature review.	Eur J Pediatr	164(10)	616-620	2005
Matsui J, Kiyokawa N, Takenouchi H, Taguchi T, Suzuki K, Shiozawa Y, Saito M, Tang WR, Katagiri YU, Okita H, Fujimoto J.	Dietary bioflavonoids induce apoptosis in human leukemia cells.	Leuk Res	29(5)	573-581	2005
加藤忠明	小児慢性特定疾患治療研究事業とその制度改正	小児科	46 巻 10 号	1645-1650	2005
Toyabe S, Nakamizo M, Uchiyama M, Akazawa K.	Circannual variation in the onset and relapse of steroid-sensitive nephrotic syndrome	Pediatr Nephrol	20	470-473	2005
Chamberlain LJ, Sanders LM, Takayama JI	Child advocacy training: curriculum outcomes and resident satisfaction	Archives of Pediatrics and Adolescent Medicine	159(9)	892	2005
高山ジョン 一郎	総合診療部 -目的と使命-	小児科	第 47 巻 第 2 号	257-61	2006

高山ジョン 一郎	注目の論文「小児期からの肥満が及ぼす社会心理的転帰」	The Mainichi Medical Journal (MMJ)	Vol.1, No.7 (別冊)	640-643	2005
Hori D, Hasegawa Y, Kimura M, Yang YL, Verma IC, Yamaguchi S	Clinical onset and prognosis of Asian children with organic acidemias, as detected by analysis of urinary organic acids using GC/MS, instead of mass screening	Brain & Development	27(1)	39-45	2005
Toriumi Y, Murata K, Taketani T, Uchiyama A, Ohie T, Yamaguchi S	A case of hyperinsulinism/hyperammonaemia syndrome: usefulness of the oral protein tolerance for the evaluation of treatment	Eur J Pediatr	164(3)	182-183	2005
Hasegawa Y, Iga M, Kimura M, Shigematsu Y, Yamaguchi S	Prenatal diagnosis for organic acid disorders using two mass spectrometric methods, gas chromatography mass spectrometry and tandem mass spectrometry	J Chromatogr B	823(1)	13-17	2005
山口清次	新生児マススクリーニング実施の要点	周産期医学	35(9)	1209-1212	2005
長谷川有紀 、山口清次	先天代謝異常 -有機酸・脂肪酸代謝異常患者に対する感染時の対応-	小児科臨床	58(12)	2480-2484	2005
Aoki Y, Matsubara Y, et al.	Germline mutations in HRAS proto-oncogene cause Costello syndrome	Nat Genet	37	1038-1040	2005
Flusser H, Matsubara Y, et al.	Mild glycine encephalopathy (NKH) in a large kindred due to a silent exonic GLDC splice mutation	Neurology	64	1426-1430	2005
Niihori T, Matsubara Y, et al.	Functional analysis of PTPN11/SHP-2 mutants identified in Noonan syndrome and childhood leukemia	J Hum Genet	50	192-202	2005
Otomo J, Matsubara Y, et al.	Electrophysiological and histopathological characteristics of progressive atrioventricular block accompanied by familial dilated cardiomyopathy caused by a novel mutation of lamin A/C gene	J Cardiovasc Electrophysiol	16	137-145	2005

Boneh A, Matsubara Y, et al.	A single nucleotide substitution that abolishes the initiator methionine codon of the GLDC gene is prevalent among patients with glycine encephalopathy in Jerusalem	J Hum Genet	50	230-234	2005
Dinopoulos A, Matsubara Y, et al.	Atypical variants of nonketotic hyperglycinemia	Mol Genet Metab	86	61-69	2005
Salvi F, Matsubara Y, et al.	Adult Alexander's disease without leukoencephalopathy	Ann Neurol	58	813-814	2005
Suzuki Y, Matsubara Y, et al.	Mutations in the holocarboxylase synthetase gene HLCS	Hum Mutat	26	285-290	2005
Gripp KW, Matsubara Y, et al.	HRAS mutation analysis in Costello syndrome: Genotype and phenotype correlation.	Am J Med Genet	140A	1-7	2006
Niihori T, Matsubara Y, et al.	Germline KRAS and BRAF mutations in cardio-facio-cutaneous syndrome.	Nat Genet	38	294-296	2006
Sato K, Matsubara Y, et al.	De novo and salvage pathways of DNA synthesis in primary cultured neural stem cells.	Brain Res			in press
Kure S, Matsubara Y, et al.	Comprehensive mutation analysis of GLDC, AMT, and GCSH in nonketotic hyperglycinemia	Hum Mutat			in press
中村好一, 屋代真弓, 上原里程, 大木いずみ, 萱場一則, 柳川洋.	第18回川崎病全国調査成績.	小児科診療	69(2)	281-292	2006

Nakamura Y, Aso E, Yashiro M, Uehara R, Watanabe M, Tajimi M, Oki I, Ojima T, Yanagawa H, Kawasaki T.	Mortality among persons with a history of Kawasaki disease in Japan: Can pediatricians safely discontinue follow-up of children with a history of the disease but without cardiac sequelae?	Acta Paediatr	94(4)	429-434	2005
上原里程, 屋 代真弓, 大木 いずみ, 尾島 俊之, 中村好 一, 柳川洋.	川崎病患者の入院期間.	日本小児科学会 雑誌	109(4)	478-483	2005
大木いずみ, 屋代真弓, 上 原里程, 中村 好一, 菌部友 良, 萱場一則 , 柳川洋.	川崎病全国調査に基づく主要症状の出 現に関する初期と現在の比較.	日本小児科学会 雑誌	109(4)	484-491	2005
中村好一.	川崎病患者追跡調査: 利点と問題点.	生存科学 B	15	53-68	2005
Muta H, Ishii M, Egami K, Hayasaka S, Nakamura Y, Yanagawa H, Matsuishi T.	Serum sodium levels in patients with Kawasaki disease.	Pediatric Cardiology	26(4)	404-407	2005
Muta H, Ishii M, Furui J, Nakamura Y, Matsuishi T.	Risk factors associated with the need for additional intravenous gamma-globulin therapy for Kawasaki disease.	Acta Paediatrica	95(2)	189-193	2006